

岡山サッカーリーグ運営責任者用 新型コロナウイルス対応版チェックリスト

シーン	項目	チェック欄	備考	
1 試合当日	試合会場・関係者の確認事項			
	1	運営責任者を感染対策責任者とする。		
	2	各参加チームから健康チェックシートを提出してもらい、感染対策責任者（運営責任者）とすべてにチェックされていることを確認する。		
	3	当日のリーグ戦に参加する全てのチームの選手・スタッフの中に濃厚接触者として2週間の健康状態観察中の人がないことを確認する。		
	4	試合運営に関わる全員が感染対策を認知し、運営準備段階からマスクの着用、手洗いの取行を行う。		
	5	健康状態チェックで準備段階で体調が悪い人がいた場合は、すぐに帰宅させる。		
	6	ベンチで間隔を空けて座れるよう、テント等で追加ベンチを設置する。（暑熱対策から屋根付きベンチとする）		
	7	感染対策実施のために以下の備品を準備する。・アルコール消毒液等		
	8	会場で運営に携わる人全員がマスクを着用していることを確認する。		
	9	運営本部にアルコール消毒液を設置する。		
	10	運営本部でスタッフが正面に座らない座席の配置を行い、お互いが1.5~2mの間隔を空けるようにする。		
	11	両チーム、審判との握手を実施しない。		
	12	試合前のチーム集合写真撮影は行わない。		
	13	円陣を行わない。		
	14	得点時にハイタッチ、抱擁を行わない。		
	15	ピッチ内でも咳エチケットを守り、つばを吐いたり、手鼻をかまない。		
	16	同じボトルを他の選手と共有せず、口に含んだ水をピッチ内に吐かない。		
	17	ピッチ上でチームメイト、審判員と会話する際にも距離についてしっかりと配慮する。		
	2 試合後	レフェリー（→審判員）との事前確認事項		
		1	審判員の健康管理表を提出してもらい、健康状態の確認を行う。	
2		審判員は用具チェックを両チームのロッカー付近、または場外で行う。審判員は用具チェック中マスクを装着する。		
3		試合前のセレモニーを控えてもらい、コイントスもキャプテン同士の距離を2m以上確保する。		
4		試合前の集合写真の撮影は実施しない。		
5		交代用紙使用の有無を伝える。		
6		試合の記録記載のために、選手、指導者、審判員等が共通の文房具類を使用する場合は、消毒する。		
後片付け				
1		更衣室など窓を開け、更衣の順番についてはローテーションを組む等の工夫をする。（更衣室を使用する場合）		
2		シャワーの利用についてはローテーションを組んで交代で浴びる等の工夫をする。（シャワー室を使用する場合）		
3	ゴミはすべて持ち返る。			
4	担架を使用した場合は、消毒を行う。			
事後対応				
1	帰宅後14日以内にチームの中から感染者が出た場合は、各リーグ委員長に速やかにその旨伝える。			

感染対策責任者（運営責任者）： _____